



神を仰ぎ 人に仕う

Chapel News

2022年4月8日(金)

No.1

「真の自由」

いよいよ新年度の始まりです。新入生の皆様ご入学おめでとうございます。この2年余は世界中の人々がコロナ禍のため不自由を強いられてきました。日本では蔓延防止期間も終了して漸く日常生活に戻りつつあります。「自由に生きたい」と思うことは誰もが抱く願望ではないでしょうか。大学生になると、今までよりも自由に暮らせるようになります。親や教師の束縛も少なくなり、受験から解放された皆様はかなり自由が味わえる筈です。そこで、自由になった皆様は何をしますか。われわれは束縛から解放された状態を「自由」だと思い込んでいるのかもしれない。しかし、それは無重力状態、宇宙遊泳のようなものです。「不自由」であると誰もが感じるのではないのでしょうか。哲学者カール・ヤスパースは「人間が本当の人間になるためには、自分を投げ渡して悔いのないものに、投げ渡すことである」と語っています。

ガラテヤの信徒への手紙5章1節に「奴隷くびき」、マタイによる福音書11章30節には「イエスのくびき」という言葉が出てきます。「くびき」とは牛馬を農耕に用いる時、肩や首に当てて牽引力を出させる道具です。ネット検索で写真を見ることができます。わたしが以前暮らしていた北海道では「ガラ」と言いますが、具合の良いガラは肩当たりがよくて、十二分に力を出させてくれますが、具合の悪いガラは肩当たりに炎症を起こさせるのです。

くびきは、ときには束縛以外の何ものでもない「奴隷のくびき」になりますが、当たりの良いくびきは、その力を最大に発揮させてくれる拠り所となるのです。自己規制を失った自由は、宇宙をさまようゴミになるかもしれません。真の拠り所に自己を投げ渡してこそ、はじめて「真の自由」が与えられるのです。

キリスト教センター所長 山口 博

2022年度 年間聖句

主は人の一歩一歩を定め 御旨にかなう道を備えてくださる。

(詩編 37 編 23 節)

4月 月間聖句

目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助けはどこから来るのか。わたしの助けは来る 天地を造られた主のもとから。

(詩編 121 編 1~2 節)

全学礼拝について

全学礼拝は火曜日～金曜日です。春学期の月に1度のチャペルでの対面礼拝週間は14時40分～15時10分で行われます。それ以外は、昨年度に引き続きキリスト教センターホームページでのオンライン礼拝配信となります。

聖学院教会祈祷会

毎週木曜日 18時40分～19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。どなたでも自由にご参加ください。

主の祈り

天にましますわれらの父よ
 ねがわくはみ名をあげさせたまえ
 み国をきたらせたまえ
 みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ
 我らの日用の糧を今日も与えたまえ
 我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
 我らの罪をもゆるしたまえ
 我らをこころみにあわせず 悪より救い出したまえ
 国とちからと栄えとは
 限りなくなんじのものなればなり アーメン



4月12日(火)

奨励者 柳田 洋夫
(人文学部チャプレン)
司会者 菊地 順
奏楽者 渡辺 善忠

◆ ◆ ◆

前奏
讃美歌 365番1節
聖書 ヨハネによる福音書
8章31～32節(新約P.182)
祈禱
奨励 「真理によって自由になる」
祈禱
讃美歌 365番3節
主の祈り
後奏

4月13日(水)

奨励者 清水 正之
(聖学院理事長・大学学長)
司会者 木村 太郎
奏楽者 ングワー 路津子

◆ ◆ ◆

前奏
讃美歌 240番1節
聖書 コリントの信徒への手紙一
13章1～7節(新約P.317)
祈禱
奨励 「愛と客観性」
祈禱
讃美歌 240番2節
主の祈り
後奏

4月14日(木)

奨励者 山口 博
(聖学院院長・キリスト教センター所長)
司会者 洛雲海
奏楽者 清水 貴子

◆ ◆ ◆

前奏
讃美歌 121番1節
聖書 ヨハネによる福音書
19章1～12節(新約P.206)
祈禱
奨励 「この人を見よ」
祈禱
讃美歌 121番3節
主の祈り
後奏

4月15日(金)

—イースター礼拝—
奨励者 木村 太郎
(心理福祉学部兼人間福祉学部チャプレン)
司会者 柳田 洋夫
奏楽者 今村 優子

◆ ◆ ◆

前奏
讃美歌 154番1節
聖書 ルカによる福音書
23章56節b～24章12節
(新約P.159)
祈禱
聖歌隊による賛美奉献
奨励 「墓で生まれる」
祈禱
讃美歌 154章3節
主の祈り
後奏

今後の全学礼拝奨励者のご案内

全学礼拝のオンライン礼拝配信は、キリスト教センターのホームページからアクセスできます。

聖学院キリスト教センター



- 4月19日(火) 東野尚志先生 (日本基督教団滝野川教会牧師、本学講師)
- 4月20日(水) 高橋愛子先生 (副学長・政治経済学科教授)
- 4月21日(木) 村松 晋先生 (日本文化学科教授)
- 4月22日(金) 古谷野亘先生 (心理福祉学科特任教授)
- 4月26日(火) 木村太郎先生 (心理福祉学部兼人間福祉学部チャプレン)
- 4月27日(水) 渡辺善忠先生 (日本基督教団巣鴨教会牧師、本学講師)
- 4月28日(木) 田中かおる先生 (日本基督教団安行教会牧師、本学講師)
- 5月6日(金) 鈴木 光先生 (日本基督教団勝田教会牧師、本学講師)

◇ キリスト教音楽会 5月18日(水)AM10:40～ オンデマンド配信 ◇

聖学院大学恒例のキリスト教音楽会では、
今年は、ゴスペル・シンガーソングライター「Migiwa」さんをお招きします！

ゴスペル・シンガーソングライターMigiwa

～プロフィール～

クリスチアンの家庭に生まれ、幼少から教会に通い聖歌隊などで音楽に親しむ。

アメリカで本場のゴスペルを聴き感銘を受け、音楽活動を開始。自身の不登校や引きこもりの経験を通し生み出された楽曲や、透き通る歌声で神様の愛を伝え、多くの人に勇気と希望を与えている。

ゴダイゴのタケカワユキヒデのサポートを受けアルバム「蟻と宇宙」をリリース。ゴスペル CCM 大賞アーティストオブザイヤー一金賞を受賞。

<http://migiwa.net/>



次回のChapel News発行日は、5月6日(金)です。